

ここま で 進 ン だ 防 災 ま ち づ くり

これまでの歩み

このまちで防災まちづくりが始まったのは、阪神・淡路大震災の年。すでに9年が過ぎようとしています。防災生活圏促進事業は平成9年から開始されました。この事業は8年間の予定で行っていますので、平成16年度いっぱい終了します。その後もまちづくりは続きますが、これまで成果をふりかえってみましょう。主な整備箇所は、図のとおりです。

◆防災まちづくりの始まり(平成7～8年度)

池袋本町地区は都内でも地震に関する地域危険度が高いところ。平成7年度に東京都防災生活圏促進事業地区の指定をうけました。平成7年度に地域の方々による「池袋本町防災まちづくりの会」を結成しました。

- (平成7年1月17日 阪神・淡路大震災)
- 平成7年7月 ニュース1号発行、アンケートを実施
- 平成7年10月 町会とのヒアリング、まちづくり懇談会
- 平成7年12月 ニュース3号で委員を募集
- 平成8年2月19日 「池袋本町防災まちづくりの会」(会長 故名取芳治さん) 発足
- 平成8年1月～ 先進地区への見学会、まちの点検、地図づくり、その他話し合いを重ねる
- 平成8年7月10日 地域の方々への説明会
- 平成8年8月7日 区長に防災まちづくり提案書を提出
- 平成8年10月 5つの検討部会(水利、道路、防災センター、救援救護、広報)が発足

◆防災まちづくり事業始まる(平成9年度～)

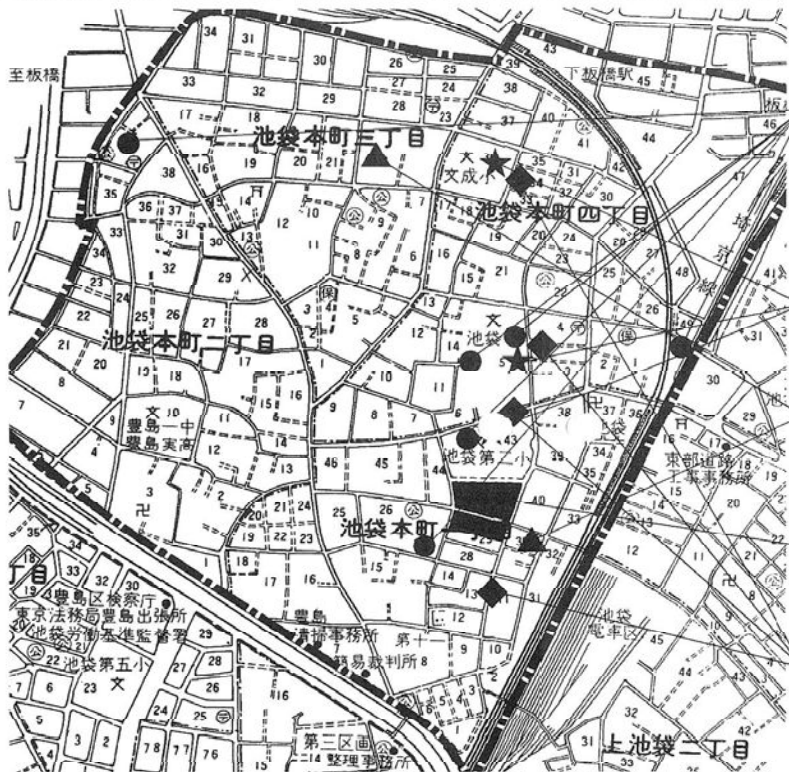
区長提言をもとに、まちづくり活動と並行して、事業がはじまりました。特に学校井戸については学校・PTAと地域住民、区が一体になって計画づくりを行いました。また、電柱移設(東電・NTT)や消火水槽設置(消防署)などを要望しました。

- 平成9年4月26日 「防災まちづくり祭」はじまる(以後、毎年定例になる)
- 平成9年9月 5t 防火用貯水槽の新設第一号(北池袋駅自転車保管所)
- 平成9年9月9日 「池二小井戸広場の会」はじまる
- 平成10年3月 池二小井戸広場完成、4月に井戸開き
- 平成10年3月 民間井戸の整備
- 平成11年3月 「池中井戸広場」の開設(検討会を行う)
- 平成13年3月 「文成小井戸広場」の開設(同上)

◆防災ひろばの検討始まる(平成12年度～)

平成12年度から防災ひろば用地の計画づくりが始まりました。区に提出したまちづくり提案で防災センターをつくらうと提案した成果です。

- 平成12年3月 JR住宅跡地6,000㎡を豊島区が取得



これまでの成果

防災に役立つ水の確保

- 貯水槽(5t)の設置
 - 区自転車保管所(平成9年度)
 - 池二小(平成9年度)
 - 池袋本町公園南東(平成9年度)
 - 池袋本町二丁目児童遊園(平成10年度)
 - 池袋中(平成10年度)
 - 池袋中西(平成11年度)

★3つの井戸広場の整備

- 池二小(平成9年度)
- 池袋中(平成10年度)
- 文成小(平成12年度)

▲民間井戸の整備

- 池袋本町三丁目(平成10年度)
- 池袋本町一丁目30(平成11年度)

まちの防災拠点づくり

- JR職員住宅跡地の整備
- 広場計画の立案
- 防災ひろばの暫定利用

道路の改善

- ◆電柱の移設
 - 池二小前(平成9年度)
 - 池袋中前(平成10年度)
 - 池袋本町一丁目(平成11年度)
 - 文成小前(平成12年度)



●池二小井戸広場の井戸開き(平成10年4月)

学校の一角に設けられた広場には50mの深井戸などの防災設備の他、子どもたちの作品がタイルや掲示板に飾ってあります。



●防災まちづくり祭(平成15年5月)

平成12年から防災ひろばが会場になり、スタンプラリーなどが親しまれています。

- 平成12年4月26日 第1回「JR住宅跡地利用検討会」が始まる。委員はまちづくりの会委員とニュースでよびかけ。他地区の公園見学会など検討を行う。
 - 平成13年5月31日 区に「暫定利用についての提案」を提出、8月から暫定利用始まる
 - 平成13年6月28日 跡地の名称や暫定利用のルールを定め、会を「本町防災ひろばの会」に改称する。
 - 平成14年3月19日 区に「防災ひろばの本格利用についての提案書」を提出する。
 - 平成14年7月 プレーパーク構想が区から提案され平成15年度から開設される。
- このように電柱移設や井戸広場の整備など身近な地区防災施設が整備できたこと、JR跡地の取得と暫定利用が実現したこと、年1回「防災まちづくり祭」が恒例になって、それらを通じて防災やまちづくりの意識がひろがったことは大きい成果です。

まちづくりで解決できていないこと

このようにできるところから取り組んできましたが、特に最近では、防災ひろばの実現が重点になったこと、区財政の悪化などの理由からまち中の改善はなかなか進んでいません。平成8年8月7日の「防災まちづくり提案」では以下の重点項目を提言しています。まだまだ取り組み課題は残っています。

◆まちづくり提案項目

1. 「安全な住まいと街並みづくり」(建物の耐震診断と補強、家具固定、危険な樹対策、建て替え促進など)
2. 道路を改善する(すみきり改善、重要道路の安全化、行き止まり改善など)
3. 公園ひろばと水と緑を増やす(防災まちかど広場、水を貯める、緑化推進など)
4. まちの防災の拠点をつくる(防災センター、震災救援センターの体制づくり等)
5. 防災活動しやすいまちをつくる(消火体制強化、助け合い体制づくり)
6. 重点施設の活用
7. 継続的にまちづくりを進める

7年間経ても、まちは変わらないところがたくさんあります。整備箇所もかたよっていたり、特に阪神・淡路大震災で問題になった、建物の耐震強化や老朽木造住宅の密集対策、道路の改善など、まだまだ大きい課題が残っています。

防災生活圏促進事業が終わっても、まちづくりには終わりはありません。豊島区では平成17年度からは、別のまちづくり事業で引き続き地区の安全性の向上を図ることを検討しています。もっと安全で住みよいまちにするために実現したいことをまちづくりの会までお寄せください。